

<研究名称>

旭川地区糖尿病地域連携パスにおける現状と評価

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者 糖尿病・内分泌内科 安孫子 亜津子

実施担当者 糖尿病・内分泌内科 辻 賢、山縣 弘規、長谷川 弓華、土井田 貴美子

<研究期間>

倫理委員会承認から 2025 年 12 月末まで

<診療・研究の目的>

1. 当院における連携パスでフォロー中の患者の実態を明らかにする
2. 旭川地区糖尿病地域連携協議会で 2 年に 1 回行っている連携パス運用状況調査の結果を過去と比較し、連携実態の変化に関して明らかにする

<実施内容（方法）>

- 1) 対象者：2020 年度～2024 年度までの期間で旭川赤十字病院 糖尿病・内分泌内科に連携パスで紹介、逆紹介となった患者
- 2) 患者抽出方法：外来の連携パス対象患者リストより抽出
- 3) 評価項目：
 - 患者背景：年齢、性別、糖尿病の型、罹病期間、連携先の特性（市内外、医療機能）
 - 連携パスのアウトカム：連携パス期間、連携パス開始時と直近のデータ、連携パス開始時と直近の治療方法（糖尿病治療薬、降圧薬、脂質異常症治療薬）、糖尿病性合併症（網膜症、腎症、神経障害、大血管障害）、連携パスの継続・中止の割合とその理由
 - 抽出データ：HbA1c、腎機能（尿中アルブミン・クレアチニン比、eGFRcreat）、ABI、PWV、BMI
- 4) 期間：倫理委員会承認時から 2025 年 12 月まで
- 5) 解析方法：患者背景およびアウトカム評価項目は、人数は単純集計、平均値±SD または中央値で集計する。
複数年通院患者のデータに関しては、年次推移を評価する。開始前後の 2 点に関しては T 検定、経年的変化に関しては ANOVA で変化の有意性を検討する。

<危険性（副作用）等>

研究は電子カルテよりデータを抽出する後ろ向き研究であり、特に介入を行う研究ではない。データの解析には個人を特定できない方法で集計・解析するため、特に危険性などはないと考えられる。すでに地域連携協議会にて定期的に行われている医療者からの調査の集計比較であり、特に危険性などはないと考えられる。本研究は、診療録から後方視的にデータを収集するため、危険性および副作用は無い

〈倫理上問題になると考えられる事項〉

本研究は電子カルテデータを用いた後ろ向き研究であり、介入試験ではないため、特に患者への侵襲や負担は発生しない。個人情報保護のために、データ解析時には個々の氏名やIDを使用せずに匿名化（番号化）して解析を行う。アンケート調査に関しては、地域連携協議会事務局である上川保健所で集計したデータを使用するため、医療機関名などは使用しない

〈問い合わせ先〉

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 安孫子 亜津子

TEL：0166-22-8111、FAX：0166-24-4648